量子の二重スリット実験は量子が観測者によって波動性を失うことをしめす実験である。非常に小さい粒である量子を二重スリットに向けて発射すると波の性質を表す。干渉を起こして干渉縞を作る。しかし観測者をつけて同じ操作を行うと、今度は粒子としてふるまうことになる。これは古典物理では説明ができないものである。たしかにすべてのものは波長の長さで粒子か波の性質どちらを持つかがきまり、光に関しては両方の性質を持つことが分かっていた。観測者がいるかどうかで性質が変わるのは直観に反するのでとても興味ぶかい。

またスリットを通った後で度のスリットを通ったか